

事業シート(令和2年度決算)

事業名	91200 外国青年(外国語指導助手)招致事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	1	教育総務費	根拠計画		教育基本振興計画			
			目	2	事務局費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	・外国語指導助手(ALT)を招致し、小中学校における次のような英語指導を進める。 ・小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 ・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 ・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。
----	--	----	---

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		12,622	9,044	13,798	13,913	9,139	95
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(外国青年招致事業雑入)	1,320	1,315	1,320	1,320	1,001	△ 314
一般財源		11,302	7,729	12,478	12,593	8,138	409
個票枝番	主な事業内容						
	外国青年(外国語指導助手)招致事業費	12,622	9,044	13,798	13,913	9,139	95

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
14,389	15,308	15,308	1,510
1,320	1,320	1,320	0
13,069	13,988	13,988	1,510
査定額	説明		
15,308			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手(ALT)を市内全小学校全学級(3~6年)で全時間、全中学校全学級週2時間派遣</li> <li>年3回小・中学生を対象とした英語のイベントを開催 約180名参加</li> <li>消防署や病院等で行われる外国人を対象とした災害や病気を想定した訓練の実施</li> <li>図書館での読み聞かせ等の活動協力</li> <li>観光パンフレットや緊急時用英語版アナウンスの作成協力</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校高学年における英語の教科教化に合わせ、小学校でのALTの指導時間を充実できた。</li> <li>ALTがお互いの授業を見学したり、担当指導主事やカリキュラムマネージャーによるALTの授業への助言機会を増やすことで、ALTの授業力が向上した。</li> <li>地域の活動を含めた各種活動に積極的に参加し、国際理解教育に貢献することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT会議において指導力向上を図るための研修の機会を充実する。</li> <li>大規模校と小規模校での各学級へのALT派遣回数が平準化しつつあるが、平均した訪問が出来るようALTの増員等を引き続き検討する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語指導助手(ALT)を市内全小学校全学級(3~6年)で全時間、全中学校全学級で週2時間概ね派遣</li> <li>消防署で行われる外国人を対象とした災害や病気を想定した訓練に参加</li> <li>休校中に、小中学校の教科書の音読を録画して、ヒットネットTVで放送</li> <li>コロナ禍のため、小中学生を対象とした英語のイベントの開催や、図書館での読み聞かせを中止</li> <li>観光パンフレットや緊急時用英語版アナウンスの作成も同様に中止</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校高学年における英語の教科教化に合わせ、特に小学校でのALTの指導時間を充実できた。</li> <li>休校中の英語教科書の音読のTV放送により、児童生徒の英語学習をサポートすることができた。</li> <li>地域の活動を含めた各種活動に積極的に参加し、国際理解教育に貢献することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT会議において指導力向上を図るための研修の機会を充実する。</li> <li>大規模校と小規模校での各学級へのALT派遣回数が平準化しつつあるが、平均した訪問が出来るように、ALTの配置等について引き続き検討する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・外国語指導助手(ALT)の市内小中学校派遣等に必要経費を計上
---------------------	---------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	91210 教育委員会事務局運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	事務局費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく)</li> <li>日本スポーツ振興センター共済への加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。</li> <li>教職員や学校医等の活動支援により、児童生徒の健全な育成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした年代別健康診断を行う。</li> <li>保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。</li> <li>教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および団体への助成を行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	16,537	16,301	14,618	14,685	14,209	△ 2,092	
特定財源							
国費( )			0				
県費( )			0				
その他(日本スポーツ振興センター ほか)	3,182	3,103	3,047	3,047	3,043	△ 60	
一般財源	13,355	13,198	11,571	11,638	11,166	△ 2,032	
個票枝番	主な事業内容						
	日本スポーツ振興センター負担金	6,700	6,530	6,500	6,500	6,404	△ 126
	教職員健康診断	2,126	2,125	2,100	2,167	2,167	42

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		14,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,356	14,239	14,239	△ 379	
0				
0				
2,965	2,965	2,965	△ 82	
11,391	11,274	11,274	△ 297	
査定額	説明			
6,400				
2,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代別健康診断 186人</li> <li>胸部レントゲン検査 553人</li> <li>共済掛金の一部負担金 6,742人</li> <li>各種団体への負担金 10団体、補助金 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の健康推進のため、継続して事業を実施</li> <li>学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図った。</li> <li>校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>レントゲン検診等は、教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。</li> <li>日本スポーツ振興センターの加入で学校管理下における児童生徒の災害補償がなされるため、保護者負担の軽減を図る。</li> <li>各種団体への負担を行うことにより、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>年代別健康診断 190人</li> <li>胸部レントゲン検査 543人</li> <li>共済掛金の一部負担金 6,616人</li> <li>各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 7団体、補助金 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の健康推進のため、継続して事業を実施することができた。</li> <li>学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図ることができた。</li> <li>校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>レントゲン検診等は、教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。</li> <li>日本スポーツ振興センターの加入で学校管理下における児童生徒の災害補償がなされるため、保護者負担の軽減を図る。</li> <li>各種団体への負担を行うことにより、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・教職員等の健康診断や児童生徒の災害補償に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	事務局費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援の充実</li> <li>・であい塾の運営や相談体制の充実などによる不登校児童生徒の学級復帰への支援</li> <li>・幼保小連携協議会を中心とした活動による幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学の援助</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力向上に資する教員研修を行う。</li> <li>・指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う。</li> <li>・であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)の管理、運営を行う。</li> <li>・朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
緊急サポートスタッフの派遣	-	-	0

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	14,585	13,225	11,960	13,174	8,818	△ 4,407	
特定財源							
国費( )			0	350	282	282	
県費(ふるさと魅力体験事業費 10/10等)	3,000	2,918	2,500	2,500		△ 2,918	
その他( )			0				
一般財源	11,585	10,307	9,460	10,324	8,536	△ 1,771	
個票枝番	主な事業内容						
	であい塾児童生徒送迎	460	326	460	415	89	
	不登校児童生徒教育相談	960	960	960	900	△ 60	
	大学連携による研修等	140	86	140		△ 86	
	ふるさと魅力体験学習事業	2,500	2,418	2,500	2,500	△ 2,418	
	タブレット端末の導入	3,740	3,681	3,690	3,681	0	
	貸出ルーター用通信使用料			0	700	23	
	いじめ防止アドバイザー派遣						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

要求額	R3予算		実施計画額	
	財務部査定額	市長査定額(d)	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
14,081	12,080	12,080		120
0				
2,500	1,010	1,010		△ 1,490
0				
11,581	11,070	11,070		1,610
査定額	説明			
445				
960				
140				
1,010				
3,680				
270				
1,370				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の研修等の実施 25回 延べ参加人数約500人</li> <li>・学校への出前講座の実施</li> <li>・校内研究支援と指導助言の実施</li> <li>・相談体制の整備(年間96件対応)</li> <li>・カリキュラム・マネジメント充実事業 日枝中</li> <li>・ふるさと魅力体験事業 小学校8校 中学校6校</li> <li>・特別支援学級へのタブレット端末の配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日的課題や学校の要望に応じた研修を計画し、1年間を通して計画的・継続的な研修を実施した。</li> <li>・カリキュラムマネジメント事業は生徒の資質・能力の育成のために3つの視点(1.指導計画、2.指導方法の在り方、3.「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたカリキュラム編成)で研究を行った。</li> <li>・教育相談の要望件数が増えている中、適切に対応することが出来た。</li> <li>・各特別支援学級の人数の変更に伴ってタブレット端末を配置し、各々の学年や学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることが出来た。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる研修実施を検討する。</li> <li>・公表会、各校校内研究会に、より多くの教職員が参観し、学び合えるよう取り組む。</li> <li>・適応指導教室であい塾の全学的展開について検討をすすめる。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の研修等の実施 10回 延べ参加人数約260人</li> <li>・学校への出前講座の実施</li> <li>・校内研究支援と指導助言の実施</li> <li>・相談体制の整備(年間80件対応)</li> <li>・ふるさと魅力体験事業 小学校0校 中学校0校(コロナにより中止)</li> <li>・特別支援学級でのタブレット端末の運用</li> <li>・書画カメラ5台を購入</li> <li>・家庭学習のための貸出ルーター20台を整備</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日的課題や学校の要望に応じた研修を計画し、1年間を通して計画的に継続的な研修を実施した。</li> <li>・教育相談の要望件数が増えている中、適切に対応することができた。</li> <li>・各特別支援学級の人数の変更に伴ってタブレット端末を配置し、各々の学年や個々の学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる研修の実施を検討する。</li> <li>・公表会、各校校内研究会に、より多くの教職員が参観し、学び合えるよう取り組む。</li> <li>・であい塾の全学的展開について検討をすすめる。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・不登校児童生徒の学級復帰への支援等に必要経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	91250 特別支援教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	事務局費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びにくさ、生活のしづかさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、自立を支援する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。</li> <li>・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。</li> <li>・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,110	790	1,090	1,090	746	△ 44
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		1,110	790	1,090	1,090	746	△ 44
個票枝番	主な事業内容						
	障がい児等に対する地域と一体化した教育支援	250	98	230	230	70	△ 28
	医療行為を必要とする児童生徒の学校活動に対する支援	860	693	860	860	676	△ 17

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,083	1,090	1,090	0	
1,083	1,090	1,090	0	
査定額	説明			
230				
860				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会の実施(5月下旬～6月上旬各小学校で実施) 1回</li> <li>・特別支援教育講演会の実施 1回 105人</li> <li>・教育支援委員会の開催 2回</li> <li>・訪問看護の実施 12回</li> <li>・幼保小連携協議会 2回</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な教育支援が行われるよう特別支援学校、関係各機関と連携して巡回訪問等を行い、児童生徒への専門的な視点での観察・職員への助言を行うことができた。</li> <li>・切れ目のない支援という視点から、子ども発達支援センターや健康推進課と連携し、サポートブックをはじめとした療育システムの構築、幼保小の連携の取り組みの推進(就学までに目指す姿・朝のスタートプラン)に努めた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会の実施(5月下旬～6月上旬各小学校で実施) 1回</li> <li>・特別支援教育講演会の実施 1回 31人</li> <li>・教育支援委員会の開催 2回</li> <li>・訪問看護の実施 12回</li> <li>・幼保小連携協議会 1回</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な教育支援が行われるよう特別支援学校、関係各機関と連携して就学相談会を実施した。</li> <li>・発達についての理解を深めるのに適した講師を招き、講演会を開催できた。</li> <li>・切れ目のない支援という視点から、子ども発達支援センターや健康推進課と連携し、サポートブックをはじめとした療育システムの構築、幼保小の連携の取り組みの推進(就学までに目指す姿・朝のスタートプラン)に努めた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門講師の巡回相談、就学支援扶助等に必要経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> </ul>
市長査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務部査定のとおりに</li> </ul>

事業シート(令和2年度決算)

事業名	92200 小学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。</li> <li>陸上記録会、音楽会など全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する費用を負担する。</li> <li>新入学時に安全な通学のための安全帽子と防犯ブザーを配付する。</li> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。</li> <li>児童の健康診断を実施する。</li> <li>音楽会や陸上記録会等の行事を開催する。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思える児童生徒の割合	74.1%	78.8%	100%
教職員1人あたりの時間外勤務	46.8	41.6	↘

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		41,410	36,882	73,000	75,000	69,096	32,214
特定財源	国費(へき地児童生徒援助費 1/3)		16		300	344	328
	県費(学校基本調査事務費 10/10)		7			7	0
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、福祉健康基金繰入金)	1,000	980	700	700	650	△ 330
一般財源		40,410	35,879	72,300	74,000	68,095	32,216
個票枝番	主な事業内容						
	防犯ブザーの配付	450	476	450	450	457	△ 19
	人間関係づくりのための心理検査の実施	2,830	2,833	2,860	2,860	1,412	△ 1,421
	小学校運営事業	33,230	29,608	32,300	34,300	30,594	986
◎ 1	校務支援システムの導入			4,390	4,390	4,389	4,389
◎ 2	教科書改訂に伴う購入			33,000	33,000	32,244	32,244
	小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの設置	4,900	3,965				△ 3,965

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		39,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,817	38,840	38,840	△ 34,160	
686	2,700	2,700	2,000	
40,131	36,140	36,140	△ 36,160	
査定額	説明			
450				
2,760				
31,240				
4,390				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 3,119人</li> <li>児童健康診断 4,747人</li> <li>防犯ブザーの配付 718人</li> <li>小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの学校への訪問 約100回</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小3~6年に対する心理検査を年2回実施。各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。</li> <li>小学校英語教育総合カリキュラムマネージャーの学校訪問や研修会を通じた継続的な指導助言により、外国語の教科化等に向けて環境を整えることが出来た。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 3,050人</li> <li>児童健康診断 4,577人</li> <li>防犯ブザーの配付 660人</li> <li>教科書改訂に伴う指導書等購入 19校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小3~6年に対する心理検査を実施。(※R2年度はコロナによる休校のため1回のみ実施)各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・小学校の学校運営に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	92220 小学校運営事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局学校教育課
			<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 校務支援システムの導入	<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線		2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月		R3.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・校務支援システムの導入によって教職員事務の効率化及び働き方改革における労働時間の短縮を図る	概要	・電算化による事務効率の向上 ・システムの維持管理
----	--	----	------------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	4,390
主な経費	・システム電算委託料	
対前年度増減額(当初予算)		4,390

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	4,390
	繰越	
	補正等	
	最終	4,390
決算額		4,389
対前年度増減額(決算)		4,389

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	4,390
主な経費	・システム電算委託料	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	・校務支援システムの導入
[スケジュール]	・年間 システムの導入及び維持・運用

事業実績、評価等	
[事業実績]	・校務支援システムの導入
[評価等]	・帳簿作成における一部事務について事務の効率化を図ることができた。 ・今後はその他帳簿作成における運用を進めていく。
次年度以降の考え方(担当課)	システム導入後は運用及び有効活用を図っていく <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・校務支援システムの運用・活用 ・システムの運用研修会の実施(OJT含む)
[スケジュール]	・年間 システムの維持・運用

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	92220 小学校運営事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局学校教育課
枝番・内容	2 教科書改訂に伴う指導書購入		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・小学校教科書の改訂に伴い、教師用の指導書を購入し、新たな教育方針に沿った指導を可能とする。	概要	・指導書の購入・配付 ・指導書の活用
----	--	----	-----------------------

[参考] H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

[参考] R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	33,000
主な経費	・指導書の購入	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	33,000
	繰越	
	補正等	
	最終	33,000
決算額		32,244
対前年度増減額(決算)		32,244

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	・指導書の購入
[スケジュール]	・年間 指導書の購入

事業実績、評価等	
[事業実績]	・指導書の購入
[評価等]	・指導書の活用によって教師の指導力を強化することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	指導書の購入後はより効率的な活用を図っていく <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・指導書の活用 ・指導方法の研究
[スケジュール]	・年間 指導書の活用

事業シート(令和2年度決算)

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の内面に寄り添い支援しながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。</li> <li>・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健相談員、特別支援員を配置し、児童の学校生活の支援を行う。</li> <li>・スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		63,350	58,395	2,050	2,050	1,995	△ 56,400
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	3,500	3,500				△ 3,500
一般財源		59,850	54,895	2,050	2,050	1,995	△ 52,900
個票枝番	主な事業内容						
	特別支援員・保健相談員の配置	61,300	56,352				△ 56,352
	スクールカウンセラーの派遣	2,000	1,995	2,000	2,000	1,995	0

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		2,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,050	2,050	2,050	0	
2,050	2,050	2,050	0	
査定額	説明			
	R2より人件費に計上			
2,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間</li> <li>・保健相談員(小学校) 15人 配置</li> <li>・特別支援員(小学校) 65人 配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことができた。</li> <li>・相談員のスキル向上のための研修は継続して充実させる必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>・児童生徒への発達検査の実施や学校での支援についての専門的な助言等、学校からの要望に応えられる体制を構築する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間</li> <li>・保健相談員(小学校) 16人 配置</li> <li>・特別支援員(小学校) 67人 配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことができた。</li> <li>・特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。</li> <li>・相談員のスキル向上のための研修がコロナ禍により実施できなかった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>・相談員の資質・能力の向上や不登校対策に向けた保健相談の充実を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、保護者、教職員のカウンセリング、研修等のためのスクールカウンセラーの派遣に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------



事業シート(令和2年度決算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。</li> <li>情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。</li> <li>学校内で使用する教材備品の購入</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	85.6%	83.3%	♪

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	409,927	100,997	123,550	430,250	332,229	231,232	
特定財源							
国費(情報通信環境整備事業補助金 1/2)	90,020			500	90,549	90,549	
県費							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)	125,500	2,200	15,510	15,510	15,510	13,310	
一般財源	194,407	98,797	108,040	414,240	226,170	127,373	
個票枝番	主な事業内容						
	小学校教育機器整備事業費	42,260	38,660	35,240	35,240	32,793	△ 5,867
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	40,100	35,268	18,700	18,700	18,696	△ 16,572
◎ 1	電子黒板・デジタル教科書の配置	2,270	2,246	31,270	31,270	25,191	22,945
	教材費	21,100	20,590	20,600	21,600	21,453	863
	1人1台タブレットの活用	2,200	2,033	17,740	25,700	4,390	2,357
	学校情報通信ネットワーク環境整備工事	302,000	0	0	280,000	212,277	212,277

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
242,104	207,600	207,600	84,050
9,978	0	0	
	136,600	136,600	121,090
232,126	71,000	71,000	△ 37,040
査定額	説明		
52,790			
18,700			
46,480			
19,200			
70,430			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育系情報ネットワークのサーバーを校務系、校務外部系、学習系に分離し、セキュリティの向上を図った。</li> <li>教育系情報ネットワークのセキュリティ強化に伴い、教職員(管理職、情報主任)へのセキュリティに関わる研修を行った。</li> <li>教育系サーバーのセキュリティの強化 19校</li> <li>電子黒板を用いたデジタル教科書導入に向けた検証 4校</li> <li>PC教室のデスクトップPC245台を2in1のタブレット型PCへ更新し配置した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育系サーバーのセキュリティ強化により、学校に関わる個人情報等の漏洩を防ぐ環境を整えることができた。</li> <li>情報セキュリティポリシーを各校に周知し、遵守するよう管理職への指導を行ったことにより、情報セキュリティに対する意識向上が図られた。</li> <li>デジタル教科書導入に向けた検証を行ったことで具体的な授業方法を検討することができた。</li> <li>普通教室等にタブレット型PCを持ち運び、授業に活用することができるようになり、児童の学習の充実につながった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置、デジタル教科書の全学級配置をすすめる。</li> <li>GIGAスクール構想、高山市学校情報化計画に基づいた1人1台端末の配置をすすめる。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による校内LAN整備工事、電源キャビネット整備工事 19校(通常学級教室、体育館でWiFi接続を利用できる環境の整備)</li> <li>GIGAスクール構想による1人1台端末の導入 4,422台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の導入 19校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による環境整備工事及び1人1台端末の導入が完了したことにより、令和3年度からの1人1台端末の使用が可能となった。</li> <li>電子黒板、教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。</li> <li>理科室、音楽室などの特別教室を含む校舎内全域でWiFi接続を利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教材の購入に必要な経費を計上</li> <li>教育系ICT機器等の導入、維持管理に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

## 主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局学校教育課
枝番・内容	1 電子黒板・デジタル教科書の配置		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線		2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月		R3.8

## 事業の目的・概要(Plan)

目的	・GIGAスクール構想に基づくICT整備の一環として電子黒板及びデジタル教科書を配置してより効果的な授業の実施を図る	概要	・各教室への電子黒板の購入・活用 ・デジタル教科書の購入・活用
----	--	----	------------------------------------

## 【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

## 【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	31,270
主な経費	・電子黒板リース ・デジタル教科書購入	
	対前年度増減額(当初予算)	
	31,270	
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり	

## R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	31,270
	繰越	
	補正等	
	最終	31,270
決算額		25,191
対前年度増減額(決算)		25,191

## R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	46,480
主な経費	・電子黒板リース ・デジタル教科書購入	
	対前年度増減額(当初予算)	
	15,210	
	※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	・電子黒板の導入・配置 ・デジタル教科書の導入
[スケジュール]	年間 配置及び運用

事業実績、評価等	
[事業実績]	・電子黒板を各教室や理科室などに配置し、運用を開始した。 ・デジタル教科書を導入し、運用を開始した。
[評価等]	・一人一台タブレットの導入及びネットワーク環境整備と併せ、デジタル教育環境を整備することができた。 ・配置後、実際に運用してみると様々な課題が出てきているため、今後はその課題解決や効率的な運用方法を検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・電子黒板及びデジタル教科書の効率的な運用のための学習方法などを模索・研究する。 ・電子黒板など機器が支障なく使用できるように維持管理を行う。
[スケジュール]	・年間 運用(リース料)

事業シート(令和2年度決算)

事業名	92230 小学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費	根拠計画	教育基本振興計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。</li> <li>読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。</li> <li>新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の管理・運営を行う。</li> <li>分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	52,453	51,859	52,460	52,460	52,431	572	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	2,000	2,000	400	400	400	△ 1,600	
一般財源	50,453	49,859	52,060	52,060	52,031	2,172	
個票枝番	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	36,500	36,136	36,800	36,800	36,784	648
	小学校図書教育推進事業費	553	544	560	560	549	5
	図書購入費	15,400	15,179	15,100	15,100	15,098	△ 81

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		52,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
53,538	51,460	51,460	△ 1,000	
53,538	51,460	51,460	△ 600	
査定額	説明			
36,800				
560				
14,100				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館指導員の全校配置</li> <li>小学校図書購入冊数 7,798冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科と図書館を使った調べる学習との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>図書館指導員の全校配置により、図書館を使った調べる学習など学習センター・情報センターの機能が高まった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館指導員の全校配置</li> <li>小学校図書購入冊数 7,601冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の図書更新等に必要経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>
--------------	---

事業シート(令和2年度決算)

事業名	92240 小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。</li> <li>・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。</li> </ul>	概要	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		18,800	16,756	20,100	20,100	17,576	820
特定財源	国費(特別支援教育就学奨励費 1/2)	2,900	2,007	3,050	3,050	2,476	469
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金 1/2)		310				△ 310
	その他(就学援助費返還金)		30			13	△ 17
一般財源		15,900	14,409	17,050	17,050	15,087	678
個票枝番	主な事業内容						
	要保護及び準要保護児童就学援助費	7,000	7,464	8,000	8,000	6,073	△ 1,391
	要保護及び準要保護児童給食費	6,000	5,208	6,000	6,000	6,288	1,080
	特別支援教育就学奨励費	5,800	4,084	6,100	6,100	5,216	1,132

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,200	20,200	20,200	100	
3,600	3,600	3,600	550	
16,600	16,600	16,600	△ 450	
査定額	説明			
7,000				
6,000				
7,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護・準要保護等児童援助費 368人</li> <li>・卒業アルバム代等の支援項目を追加し、支給内容の充実を図った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。</li> <li>・新入学用品費等の入学前の支給や、コロナウイルス感染症対策のための休校期間中の給食費に代わる支援を実施し、対象児童生徒の保護者負担の軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等児童援助費 368人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象児童の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・経済的理由のために就学困難な学齢児童への学用品費等の支給に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	92260 小学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。</li> <li>地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における特色ある学校経営を支援する。</li> <li>各学校で、その地域の特色ある講師や、児童が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合	83.7%	76.3%	100%
将来の夢や目標を持っている児童の割合	86.0%	77.1%	100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%	67.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2		増減 (b)-(a)	
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算		決算 (b)
		8,840	8,476	8,840	8,840	6,818	△ 1,658
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( )						
	その他 ( )						
一般財源		8,840	8,476	8,840	8,840	6,818	△ 1,658
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	5,000	5,000	5,000	5,000	4,031	△ 969
	子どもの個性・能力・創造性を伸ばすキャリア教育の推進	200	100	200	200		△ 100
	社会科副読本「飛驒の高山」	1,100	929	1,100	1,100	913	△ 16
	外部講師活用事業	1,900	1,804	1,900	1,900	1,272	△ 532
	社会科副読本「飛驒の高山」別冊						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		8,800
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
9,579	9,610	9,610	770	
9,579	9,610	9,610	770	
査定額	説明			
5,000	特色ある学校経営推進協議会補助金			
200				
1,100				
1,900				
770				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>19校で延べ96名の講師を活用 912時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)の開催 1日(H30年度、午前、午後で開催していたものを終日に変更)</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 19校で19件実施、認定交付事業 12校で15件実施</li> <li>社会科副読本の改訂準備委員会の開催 4回</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>EST未来塾では、プログラミング講座を通して、子どもたちの課題を解決するための力を育み、主体的に考え・行動できる人材育成を目指して実施することが出来た。</li> <li>各校に均等に交付された補助金や社会科副読本を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> <li>社会科副読本については、3・4年生の各地域の内容を充実させるため、子どもたち自身が調べた地域の魅力を掲載した別冊版の発刊に向け、準備委員会にて準備を進めることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動は、児童に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> <li>副読本については、3・4年生の各地域の学習の部分を一層充実させるために、副読本研究委員会において、別冊版の発刊に向けて準備を進める。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>19校で延べ96名の講師を活用 634時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)は新型コロナウイルス感染症拡大により中止。</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 19校で17件実施(うち4件は事業を縮小)、認定交付事業 12校で12件実施(うち2件は事業を縮小) ※新型コロナウイルス感染症拡大により縮小</li> <li>社会科副読本の改訂準備委員会の開催 6回</li> <li>小学校3年生用の副読本を制作。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校に均等に交付された補助金や社会科副読本を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、中止・縮小せざるを得ない事業もあったが、各小学校で活動を工夫して取り組むことで、地域とつながる活動を実施することができた。</li> <li>社会科副読本別冊の改訂協議及び発刊を行い、より充実した授業に生かすことができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動は、児童に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> <li>社会科副読本については、3・4年生の各地域の学習の部分を一層充実させるために、改訂準備委員会を設立し、改訂に向けて進める。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の特色ある学校経営を支援するために必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	93200 中学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。
----	----------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合	72.8%	83.4%	100%
教職員1人あたりの時間外勤務	59.6	45.1	↘

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		28,330	26,027	30,730	32,320	27,822	1,795
特定財源	国費(へき地児童生徒援助費 1/3)		27		350	376	349
	県費(学校基本調査事務費 10/10)		4			4	0
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)				1	1	1
一般財源		28,330	25,996	30,730	31,969	27,441	1,445
個票枝番	主な事業内容						
	人間関係づくりのための心理検査の実施	1,450	1,433	1,480	1,480	730	△ 703
	中学校運営事業	26,600	24,310	26,470	28,070	24,320	10
	校務支援システムの導入			2,780	2,780	2,772	2,772
	道徳教科化に伴う指導書等購入	280	284				△ 284
◎ 1	教科書改訂に伴う指導書購入						

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		44,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
56,732	55,760	55,760	25,030	
	1,000	1,000	1,000	
56,732	54,760	54,760	24,030	
査定額	説明			
1,480				
26,500				
2,780				
25,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,577人 ・生徒健康診断 2,511人 ・道徳教科化に伴う指導書、教師用教科書の購入 12校
評価等	・中1.2年生に対する心理検査を年2回実施。各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,578人 ・生徒健康診断 2,504人
評価等	・中1.2年生に対する心理検査を実施。(※R2年度は休校のため1回のみ実施)各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校の学校運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------



事業シート(令和2年度決算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。</li> <li>情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。</li> <li>中学校教育機器の充実</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。</li> <li>学校内で使用する教材備品の購入</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	82.4%	79.9%	♪

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		231,320	67,376	78,600	240,000	185,529	118,153
特定財源	国費(情報通信環境整備事業補助金 1/2)	49,155			150	49,329	49,329
	県費						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)	74,250	1,400	300		300	△ 1,100
一般財源		107,915	65,976	78,300	239,850	135,900	69,924
個票枝番	主な事業内容						
	中学校教育機器整備事業費	30,320	29,251	25,930	25,930	24,415	△ 4,836
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	25,500	22,274	11,810	11,810	11,808	△ 10,466
◎ 1	電子黒板・デジタル教科書の配置			14,550	14,550	11,958	11,958
	教材費	15,100	14,557	15,100	15,400	15,432	875
	1人1台タブレットの活用	1,400	1,294	11,210	14,100	2,303	1,009
	学校情報通信ネットワーク環境整備工事	159,000			147,000	108,401	108,401

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		116,530
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
146,400	124,180	124,180	45,580	
6,302	0	0		
	74,400	74,400	74,100	
140,098	49,780	49,780	△ 28,520	
査定額	説明			
34,340				
11,810				
22,890				
15,100				
40,040				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育系情報ネットワークのサーバーを校務系、校務外部系、学習系に分離し、セキュリティの向上を図った。</li> <li>教育系情報ネットワークのセキュリティ強化に伴い、教職員(管理職、情報主任)へのセキュリティに関わる研修を行った。</li> <li>教育系サーバーのセキュリティの強化 12校</li> <li>PC教室のデスクトップPC172台を2in1のタブレット型PCへ更新し配置した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育系サーバーのセキュリティ強化により、学校に関わる個人情報等の漏洩を防ぐ環境を整えることができた。</li> <li>情報セキュリティポリシーを各校に周知し、遵守するよう管理職への指導を行ったことにより、情報セキュリティに対する意識向上が図られた。</li> <li>普通教室等にタブレット型PCを持ち運び、授業に活用できるようになり、生徒の学習の充実につながった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置、デジタル教科書の全学級配置をすすめる。</li> <li>GIGAスクール構想、高山市学校情報化計画に基づいた1人1台端末の配置をすすめる。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による校内LAN整備工事、電源キャビネット整備工事 12校(通常学級教室、体育館でWiFi接続を利用できる環境の整備)</li> <li>GIGAスクール構想による1人1台端末の導入 2,335台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の導入 12校</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による環境整備工事及び1人1台端末の導入が完了したことにより、令和3年度からの1人1台端末の使用が可能となった。</li> <li>電子黒板、教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう生徒が増えた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。</li> <li>理科室、音楽室などの特別教室を含む校舎内全域でWiFi接続を利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、生徒・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教材の購入に必要な経費を計上</li> <li>教育系ICT機器等の導入、維持管理に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり



主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局学校教育課
枝番・内容	1 電子黒板・デジタル教科書の配置		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	中学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・GIGAスクール構想に基づくICT整備の一環として電子黒板及びデジタル教科書を配置してより効果的な授業の実施を図る	概要	・各教室への電子黒板の購入・活用 ・デジタル教科書の購入・活用
----	--	----	------------------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	14,550
主な経費	・電子黒板リース ・デジタル教科書購入	
	対前年度増減額(当初予算)	
	14,550	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	14,550
	繰越	
	補正等	
	最終	14,550
決算額		11,958
対前年度増減額(決算)		11,958

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	22,890
主な経費	・電子黒板リース ・デジタル教科書購入	
	対前年度増減額(当初予算)	
	8,340	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の導入・配置</li> <li>デジタル教科書の導入</li> </ul>
[スケジュール]	年間 配置及び運用

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板を各教室や理科室などに配置し、運用を開始した。</li> <li>デジタル教科書を導入し、運用を開始した。</li> </ul>
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一台タブレットの導入及びネットワーク環境整備と併せ、デジタル教育環境を整備することができた。</li> <li>配置後、実際に運用してみると様々な課題が出てきているため、今後はその課題解決や効率的な運用方法を検討する。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後はより有効的な活用に努める。</li> <li>特別支援学級、特別教室等への拡充を図る。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板及びデジタル教科書の効率的な運用のための学習方法などを模索・研究する。</li> <li>電子黒板など機器が支障なく使用できるように維持管理を行う。</li> </ul>
[スケジュール]	年間 運用(リース料)

事業シート(令和2年度決算)

事業名	93230 中学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。</li> <li>・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。</li> <li>・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の管理・運営を行う。</li> <li>・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		37,180	36,972	37,480	37,480	37,397	425
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	1,300	1,300	300	300	300	△ 1,000
一般財源		35,880	35,672	37,180	37,180	37,097	1,425
個票枝番	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	23,000	22,822	23,300	23,300	23,232	410
	中学校図書教育推進事業費	380	363	380	380	366	3
	図書購入費	13,800	13,787	13,800	13,800	13,799	12

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		37,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,096	37,480	37,480	0	
38,096	37,480	37,480	300	
査定額	説明			
23,300				
380				
13,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導員の全校配置</li> <li>・中学校図書購入冊数 6,752冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導員の全校配置により、図書館を使った調べる学習など学習センター・情報センターの機能が高まった。</li> <li>・年度末の新型コロナウイルス感染症拡大防止ため臨時休業では、図書館での貸し出しを業務を行い、児童生徒の休業中の生活のサポートを行った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導員の全校配置</li> <li>・中学校図書購入冊数 6,805冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>・調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・学校図書館の図書更新等に必要経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	93240 中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。</li> <li>・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	23,200	17,977	21,500	21,500	15,523	△ 2,454	
特定財源							
国費 (特別支援教育就学奨励費 1/2)	2,100	1,294	2,250	2,250	1,099	△ 195	
県費 (岐阜県清流の国ぎふ推進補助金 1/2)		170				△ 170	
その他( )							
一般財源	21,100	16,513	19,250	19,250	14,424	△ 2,089	
個票枝番	主な事業内容						
	要保護及び準要保護生徒就学援助費	14,000	11,781	13,000	13,000	8,844	△ 2,937
	要保護及び準要保護生徒給食費	5,000	3,685	4,000	4,000	4,419	734
	特別支援教育就学奨励費	4,200	2,510	4,500	4,500	2,259	△ 251

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
26,700	26,700	26,700	5,200
2,750	2,750	2,750	500
23,950	23,950	23,950	4,700
査定額	説明		
16,000			
5,200			
5,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護・準要保護等生徒援助費 198人</li> <li>・卒業アルバム代等の支援項目を追加し、支給内容の充実を図った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学用品の一部や給食費の実費などを支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えた。</li> <li>・新入学用品費等の入学前の支給や、新型コロナウイルス感染症対策のための休校期間中の給食費に代わる支援を実施し、保護者負担の軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護・準要保護等生徒援助費 165人</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象生徒の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のために就学困難な学齢児童への学用品費等の支給に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要求どおり</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務部査定のとおりに</li> </ul>

事業シート(令和2年度決算)

事業名	93260 中学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。</li> <li>地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における特色ある学校経営を支援する。</li> <li>各学校で、その地域の特色ある講師や、生徒が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合	74.7%	61.4%	100%
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	69.3%	68.5%	100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	63.7%	67.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	5,730	5,275	5,610	5,610	3,625	△ 1,650	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他( )							
一般財源	5,730	5,275	5,610	5,610	3,625	△ 1,650	
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	3,200	3,200	3,200	3,200	2,078	△ 1,122
	子どもの個性・能力・創造性を伸ばすキャリア教育の推進	200	100	200	200		△ 100
	外部講師活用事業	1,800	1,618	1,800	1,800	1,168	△ 450

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		5,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,598	5,610	5,610	0	
5,598	5,610	5,610	0	
査定額	説明			
3,200	特色ある学校経営推進協議会補助金			
200				
1,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>12校で延べ98名の講師を活用 805時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)の開催 1日(H30年度、午前、午後で開催していたものを終日に変更)</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 12校で12件実施、認定交付事業 7校で9件実施</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸能、スポーツ等の専門的な分野に長けた講師による授業で、生徒が普段はできない学びができ、知識や技能の向上につながった。</li> <li>・EST未来塾では、プログラミング講座を通して、子どもたちの課題を解決するための力を育み、主体的に考え・行動できる人材育成を目指して実施することが出来た。</li> <li>・各校に均等に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育活動は、生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H31完了
- R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12校で延べ61名の講師を活用 584時間</li> <li>・EST未来塾(プログラミング講座)は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</li> <li>・特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 12校で11件実施(うち7件で事業を縮小)、認定交付事業 9校で8件実施(うち4件で事業を縮小) ※新型コロナ感染症拡大により縮小</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸能、スポーツ等の専門的な分野に長けた講師による授業で、生徒が普段はできない学びができ、知識や技能の向上につながった。</li> <li>・各校に均等に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、中止・縮小せざるを得ない事業もあったが、各中学校で活動を工夫することによって、地域や世界とつながる活動を実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育活動は、生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・各学校の特色ある学校経営を支援するために必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・義務教育における給食費の軽減やクラブ活動遠征費などの学校生活に関わる費用への支援を行います。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成を図る。	概要	・部活動やクラブにおいて各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	19,150	11,278	11,800	11,800	2,319	△ 8,959	
特定財源							
国費( )							
県費( 部活動指導員配置事業費 2/3 )	4,800	1,766				△ 1,766	
その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	100	100				△ 100	
一般財源	14,250	9,412	11,800	11,800	2,319	△ 7,093	
個票枝番	主な事業内容						
	中学校部活動に対する支援	1,950	1,725	1,800	1,800	1,695	△ 30
	部活動指導員の配置	7,200	2,713				△ 2,713
	各種大会派遣に対する支援	10,000	6,840	10,000	10,000	624	△ 6,216

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
11,800	11,800	11,800	0
11,800	11,800	11,800	0
査定額	説明		
1,800			
10,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置促進事業 8名の部活動指導員を6校の中学校に配置 8名の指導員で1,659時間の指導(一人あたり207時間) 指導員配置の部活動顧問の時間外勤務が1,570.5時間削減(一人あたり98時間)</li> <li>各種大会派遣補助金 県大会出場 50件 東海大会出場 19件 全国大会出場 15件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図られた。</li> <li>また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。</li> <li>部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援が出来た。</li> <li>部活動だけでなくクラブ活動に対し、大会遠征にかかる保護者負担の軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。</li> <li>部活動指導員を有効に活用する。</li> <li>部活動及びクラブ活動に対する大会派遣の支援を行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置促進事業 14名の部活動指導員を9校の中学校に配置 14名の指導員で1,853時間の勤務(一人あたり132時間勤務) 指導員配置の部活動顧問の時間外勤務が1,386.5時間削減(一人あたり60時間削減)</li> <li>各種大会派遣補助金 県大会出場 20件 東海大会出場 0件 全国大会出場 5件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図られた。</li> <li>また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。</li> <li>部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援が出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症により、中体連等の各種大会が中止となり、R2年度に限り代替大会等も補助対象とし、保護者の負担軽減を図った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。</li> <li>部活動指導員を有効に活用する。</li> <li>部活動及びクラブ活動に対する大会派遣の支援を行う。</li> </ul> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・部活動及びクラブ活動の大会派遣等に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------